お知らせページ

総務課より

感電事故防止について

東北電力が呼んでいる

全国の最近五ケ年間における感電事故は、死亡者三〇〇～四〇〇名、負傷者は一、三〇〇～一七〇〇名となっております。

その事故の中、半数以上が建設業関係者で、労働安全衛生規則で電線路等に近接して工作物（建物等）の建設、修理、塗装などの作業やこれに附帯する作業（くい打、クレーン操作法等）に従事する場合、その工事で人を使って施行する側で危険防止の措置を講じなければならないと規定されております。

東北電力ではつねに危険ケ所の発見と事故防止のためパトロールをしております。

なおこれら工事の実施に伴う危険ケ所について、工事施工者の申込依頼により配電線の防護や、変更工事を施工しております。

したがって工事関係者は、計画段階により緊密な、しかも早期のご連絡を待って居られます。

特に大工、左官屋、屋根屋、塗装屋さんそしてクレーンオペレーターの皆様に、くれぐれも注意されております。

工事現場に限らず、お宅の周囲でも危険と思はれる配電線などがあったらすぐ東北電力白根営業所又は近くの出張所に連絡して下さい。電気は便利で重宝なものですが、扱い方の如何によっては恐ろしい怪獣ともなるものです。

電信電話の写真を募集しております。

電々公社では、発足二十周年と加入電話二千万台突破記念として次により電信電話のフォトコンテストを実施中ですから多数応募して下さい。

◎題材　電報電話に関するもの

1. 白黒写真の部～四ツ切
2. カラー写真の部～キャビネ（リバーサルを除く）

◎締め切り、昭和四七年九月二十日（当日消印有効）

◎発表、十月下旬

◎賞、白黒、カラーそれぞれ、推薦

特選二点　賞状　賞金二万円楯

一点　賞金二万円楯

金一万円楯、賞状　準特選三点　賞金五千円楯、賞状　入選十点　豪華アルバム賞状　佳作　二十点四ツ切アルバム、賞状

その他出品者全員に参加賞をさしあげます。

◎送り先　〒三八〇　長野県南長野字高畑　信越電気通信局文集広報課　電信電話写真コンテスト係

危険物取扱者試験が実施されます。

昭和四十七年度第二回危険物取扱者試験が次のとおり実施されます。

受験を希望される人は早目に手続きをして下さい。

記

一、試験記日　十月二十二日

二、試験の種類　乙種第四種及び丙種

三、受験資格

(イ)乙種第四種

製造所等において第四種危険物の取扱い実務経験を六ケ月以上有するもの。

(ロ)丙種

特に受験資格はありません。

四、受験方法

筆記試験（択一式）

五、願書の受付期間

九月六日から十月五日まで

六、その他

(イ)受験願書は白根地区消防署、月潟村役場にあります。

(ロ)不明の点は、月潟村役場総務課にお尋ね下さい。

納期のおしらせ

九月納期の村税は下記のとおりです。30日まで納入下さい。

固定資産税　第3期

収獲の秋村税等前納して下さい。

税務係

八月の雨量

総雨量　二七七、〇粍

最大日雨量（三日、二十六日）　九〇、〇粍

降雨日数　十一日

住民課より

第三回　この制度をごぞんじですか？

◎妊娠中毒症等療養援護費の支給

妊娠中毒症及び糖尿病は妊産婦死亡の大きな原因であり、また、未熟児・心身障害児の発生の原因となり、分娩後は産婦に後遺症を残こす等、母子保健上見過しにできない病気です。

そこで、早目に適正な療養を受け、それを防ぐことを目的とし援護費が支給されます。

・対象

妊娠中毒症又は糖尿病にかかっている妊産婦（妊娠中又は出産後十日以内の女子）で七日以上二十一日以内の入院に限る。

ただし、社会保険の本人と前年分の所得税を四八〇一円以上おさめている世帯の者は除かれます。（入院から七日以内に申請手続をとらないと無効になります。

おめでた　おくやみ

◎生まれた人

氏名	保護者	部落
本間　正之	月潟　正義	月潟
萩原八重子	総一　釣寄	東長嶋
白倉　利恵	正作	月潟
土田　匡志	建基	月潟

◎およろこび

氏名	世帯主	部落
角田　豊雄	金豊	木滑
雨宮　勝江	勇	東京都
杣田　宏	キソ	月潟
清水　光子	勘作	白根市
高橋　正男	実	上曲通
高橋　栄子	実	上曲通
田中　芳	文一	月潟
島村　律子	治三郎	東京都

◎亡くなった人

氏名	年齢	世帯主	部落
細海敏太郎	(70)	敏男	月潟
原　平一郎	(47)	増一	上曲通
小林　平吉	(64)	清二	月潟
山坂桂三郎	(57)	勉	西萱場
白倉　ハツ	(76)	高平	木滑

編集後記

早起きして歩け歩け運動をすすめます。

新鮮な、そしてさわやかな空気を吸って田圃道を、東部用水路、橋を渡って堤防を歩くことは何んとも言えない快感をよぶものです。

歩くことによって健康の増進になり本当によいものです。

月潟にも早起きして月潟橋から萱場橋を渡る約4Kコースを歩く中年～老年者が大部ふえたようです。

いよいよ秋です。獲入れの終るまでこのまま風水害のない無難であることを祈ります。